



発行所 ☎730-0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島県支部
 発行人 高見誠一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建設防広島」の購読料が含まれています。 11月号

無事故の歳末 明るい正月

平成30年度 建設業年末年始労働災害防止強調期間

(平成30年12月1日～平成31年1月15日)

建設業における年度前半(9月末)の労働災害は、昨年同期に比べ全国で死亡災害が4%減少(203人)、死傷災害(死亡と休業)が1%増加(9,943人)と変動幅が小さいのに対し、広島県内における死亡災害は6名で昨年同期の5人を上回り、死傷災害については41人、19.5%増加の251人となっています。死亡災害6人のうち4人が公共工事の土木現場での災害になっていること、墜落・転落災害が半数の3件で、重機災害が2件、60歳代が3人、経験30年以上のベテランが4人を占めていることが特徴的な傾向といえます。死傷災害は平成29年度が過去最少だったこともありますが、251人の内訳を見ると、「挟まれ・巻き込まれ災害」は14件から36件に2.5倍となり、「激突され災害」が9件から17件に倍増し、建設業8次防の削減目標となった「墜落・転落災害」も78件から88件に13%増加しています。

建設投資は平成24年と比べ近年は5割増しとなっており、ただでさえ技術者・技能者等人手不足の中、7月豪雨災害の緊急復興工事が県内至るところで行われております。この10月から災害復旧工事の発注も行われてきましたが、数千箇所といわれる豪雨災害の現場の設計積算作業もままならな

い状況であり、復旧工事のために求人をかけても人がいない状況が続いております。土木現場に建築の担当者を応援に行かせる、また、発注者も規模により監理技術者の専任条件の緩和の検討をしているとの報道も目にします。

建設現場で従来から続く人手不足に加え、災害復旧工事による、高齢者、新規入場者の方の多い作業環境が、左記の「3つの災害」の急増の背景要因になってはいないか危惧するところで

です。建設防広島県支部では、重点対策として「墜落・転落災害撲滅キャンペーン」「STOP! 熱中症クールワークキャンペーンひろしま」「熱中症防止対策事例集の作成」「建設業フィンガー・チェック運動」を継続した取組を、それぞれ進めておりますが、結果として安全管理活動の徹底がまだ十分浸透しているとは言えない状況です。

何かと気げわくなる「建設業年末年始労働災害防止強調期間」に、上記の重点対策を含む災害防止対策の徹底に加え、教育、点検、統括管理、作業手順遵守等の事項について、全現場をあげて再確認をお願いし、「無事故の歳末、明るい正月」を迎えたいと思います。



目

無事故の歳末 明るい正月	1
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育が始まりました! ~この特別教育が人材開発支援助成金の対象になりました~!	2
建設工事の職場環境改善実施担当者研修を開催します!!	3
全国労働衛生週間に各分会でパトロールを行いました!	4
平成30年度 広島県低層住宅建築工事安全対策協議会が開催されました	5

次

三次分会安全衛生担当者等を対象に研修会が開催されました!	5
STOP! 熱中症クールワークキャンペーンひろしま事例集を掲載しました!	6
労働災害発生状況	7
人事異動のお知らせ	7
講習・行事コーナー (平成30年11月~平成31年1月)	8

フルハーネス型安全帯使用作業特別教育が始まりました！ ～この特別教育が人材開発支援助成金の対象になりました～！

さる10月29日、新しく始まったフルハーネス型安全帯使用作業特別教育が広島県支部で開催されました。11月1日には福山会場でも開催され、以降順次各分会で新しい教育が開始されます。

広島会場では、40名の受講者が参加され、学科講義の後、フルハーネス型安全帯の着用点検、単管、親綱へのフックかけ、安全帯の点検等に熱心に取組をされていました。

墜落・転落災害は建設業の死亡災害の4割、死傷災害の35%を占めており、災害防止の取組の最重点になっています。しかしながら、墜落災害の殆どは安全帯（墜落制止用器具）を使用していないケースとなっており、保護具を使用するための教育として、労働安全衛生規則第36条に掲げる41番目の特別教育になりました。



実技受講風景

フルハーネス型安全帯使用作業特別教育が、10月から厚生労働省の人材開発支援（旧建設労働者確保育成）助成金の対象になりましたので、助成制度を利用し是非受講されるようお勧めします。

安全帯は、今まで使用する、使用しないにかかわらず「現場に入る場合の装備」として「安全帯ヨシ！」の指差呼称とともに、長い間「胴ベルト式」が使われていましたが、今回の改正が職場に大きな環境、安全文化の変化をもたらす、契機になるものと考えています。

「フルハーネス型使用作業特別教育」の対象業務、受講料、開催予定は以下の通りです。

受講対象者：高さ2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいて、墜落制止器具のうち、フルハーネス型安全帯を用いて行う作業（ロープ高所作業に係る業務を除く）に係る業務。

定員：40名

受講料：会員8,100円、非会員9,200円（税込）

テキスト代：800円（税込）

実技がありますので、フルハーネス型安全帯を**必ず持参**する必要があります。

今後の特別教育開催予定：右の表のとおり。

申込方法：申込用紙をホームページからダウンロードして、郵送又は持参して下さい。

出張教育を希望される場合は、20名以上を対象に承ります、ご連絡ください。

フルハーネス型安全帯使用作業特別教育開催日	実施場所	受付分会
平成30年11月14日（満員）	広島市	支部
20日	福山市	福山
26日	広島市	支部
29日	呉市	呉
12月7日	広島市	支部
11日	呉市	呉
18日	福山市	福山
21日	広島市	支部
平成31年1月11日	広島市	支部
18日	広島市	支部
23日	福山市	福山

工事現場のメンタルヘルス対策を考えていますか？
無記名ストレスチェックで「集団分析手法」による問題抽出と改善手法を学べます！
「建設工事の職場環境改善実施担当者研修を開催します！！」

人は十人十色、考え方、価値観が違う上に、複数の事業者が混在し多くの人員が出入します。段取りはうまく行ってあたり前、しかし、忙しく、人手不足の昨今、調整等にストレスはたまるばかり。建設現場は元請職員、職長・現場責任者、作業者の方の苦勞が増すばかりです。

ストレスから睡眠不足に、これで脳内のコルチゾールが増加し、注意力を喚起する機能が低下し、ヒューマンエラーとなって災害要因になりかねません。

そんな悩みを、建災防の「健康KY」や「無記名ストレスチェック」で集団分析を行い、課題を発見し、職長会等を通じて解決する手法を担当者に研修する講座が新しく始まります。

建設現場の「集団分析」手法が学べる年1回の研修です。グループワーク（演習）を通じて、実践的手法を身近なものにしましょう！現場管理者、店社の労務安全スタッフ、人事労務担当者に対する研修です。自社のストレスチェックの職場単位の集団分析にも役立ちます。

国の「職場環境改善助成金」制度も設けられる予定になっています。

1 講座の名称

建設工事の職場環境改善実施
担当者講習

現場での職場環境改善は、どう進めるの？

2 開催日時及び場所

日時 平成30年12月11日（火）
8：50～16：20
場所 中特会館3階会議室
広島市中区鞆町3-57



3 受講対象者・定員

建設現場において無記名ストレスチェックを活用した職場環境改善を実施及び指導・助言をしようとする安全担当者・産業保健スタッフ等
定員：50名

4 実施主体：建設業労働災害防止協会広島県支部

広島市中区上八丁堀8-10 電話082-228-8250

5 受講料及びテキスト代

受講料 会員6,500円 非会員7,600円（いずれも税込）
 テキスト代 4,060円（税込）
 「建設現場の職場環境改善マニュアル」
 「建設現場の職場環境改善事例集（CD-ROM付き）」
 「建設工事従事者のためのセルフチェック・ハンドブック」

6 申込方法

所定の申込書に所要事項を記載し、建災防広島県支部へ申し込んでください。
 申込用紙は、当支部ホームページからダウンロードできます。

7 カリキュラム

時間	内容等
8：50～9：00	開講あいさつ
9：00～10：00（60分）	建設業におけるメンタルヘルス対策の必要性
10：00～10：10	休憩10分
10：10～12：20（120分） （うち11：10～11：20） 休憩	建設現場のメンタルヘルス対策 ・建災防方式健康KYと無記名ストレスチェック ・職長と作業員のためのメンタルヘルスケア
12：20～13：10	食事・休憩50分
13：10～14：10（60分）	職場におけるメンタルヘルス対策
14：10～14：20	休憩10分
14：20～16：20（120分）	無記名ストレスチェックを活用した建設現場の職場環境改善のすすめ方（グループワーク）
16：20～	閉講・修了証交付

全国労働衛生週間に各分会でパトロールを行いました！

今年の全国労働衛生週間が始まった10月上旬広島分会を始め、呉分会、福山分会、尾道分会等各分会で衛生週間行事の一環として工事現場のパトロールが行われました。

広島分会では、東区、西区、南区・安芸区、中区、東広島の5班に分かれ、広島中央労働基準監督署と合同でパトロールを実施しました。パトロールに公共機関の発注である市町の職員、分会役員、安全指導者のほか建災防広島県支部が今年から厚生労働省の補助事業として行っている「中小専門工事業者等の安全衛生活動支援事業」の推進員を含め総勢44名が参加しました。

パトロールした現場は、広島大学跡地「地の拠点」再生プロジェクトとして施工中のマンションを始め、マンション新築工事3現場、企業本社の新築工事1現場、市発注の雨水幹線土圧シールド工事1現場の5現場でした。

各現場では、工事概要を説明していただいた後、パトロールを行いました。建災防の指導者の「衛生週間にちなむ啓発用ポスター、掲示、スローガン等の掲示物がもっとほしい。」「みんなが使うトイレや洗面所には、トイレに行きたくくなるような花、ポスターなどの工夫をしたらどうか。」「有機溶剤使用場所に作業主任者、職務などを掲示し、化学物質のリスクアセスメント制度に基づき、SDS（安全データシート）の掲示・周知をしたらどうか」など衛生週間にちなんだ意見が各現場で出されていました。

パトロールした現場は、安全帯の使用、通路・足場の状況もよく、整理整頓がゆき届き、新規入場教育の徹底や朝礼広場の掲示物には、関係法令の記載を入れた注意掲示等もあり、非常にわかりやすく工夫がなされていました。一部足場建地の足元養生確認、床面の段差処理、型枠支保工の滑動防止等の改善をお願いします現場もありました。

パトロールを受けられた現場も、「建災防のパトは、現場内のパトロール、店社パトロールとは違う切り口の指摘が多く大変参考になりました。」と感想を述べられていました。

パトロールさせていただいた各現場が無事故無災害で工事を完成されることを祈念して現場を後にしました。



マンション工事現場のパトロール



シールド工事現場のパトロール

平成30年度 広島県低層住宅建築工事安全対策協議会が開催されました

平成30年度の広島県低層住宅建築工事安全対策協議会が10月23日に開催されました。協議会には、広島労働局、広島県土木局建築課のほか低層住宅建築関係団体等から10団体計15名が出席しました。

労働局健康安全課長より、「建設業の死亡災害が昨年より早いペースで6件になり、木造改築現場での墜落死亡災害が、発生しているので、墜落災害防止対策の徹底を要請したい。」と挨拶がありました。

安全専門官より「低層住宅の災害発生状況」「フルハーネス関連法改正」等について説明がありました。この中で、木造住宅など低層住宅建築工事における労働災害は増減を繰り返しあまり減少しないので、引き続き墜落・転落の防止のため、安全帯を含めた保護具の着用を徹底してほしいと要請されました。

建災防事務局から、1) 墜落防止用個人用保護具(フルハーネス型安全帯)特別教育の内容と開催日、2) 墜落転落災害の29年度の分析結果と特徴・傾向、3) 建災防安全指導者パトロールの実施結果等について説明しました。

そのあとで各業界、団体から低層住宅工事におけるフルハーネス型安全帯の使用について、団体に本日の資料・説明について持ち帰り検討したい等の意見がありました。



協議会の模様

三次分会安全衛生担当者等を対象に研修会が開催されました！

9月26日午後から3時間、三次市の十日市コミュニティセンターで三次分会内の建設工事安全衛生担当者を対象とした研修会が開催され、46名の参加がありました。

この研修は、安全指導者の安全パトロールを効果的に実施するため、パトロールを受ける側の現場の安全衛生担当者が安全管理全般についての基礎知識を身につけ、現場で必要な安全管理対策を実施し、パトロールに際して安全指導者のアドバイスを受けることがより効果的だとの意見により開催するものです。研修は、監督署、建災防県支部事務局長、安全管理士が講師を担当して、「災害復旧工事の安全管理対策」、「建設業第8次労働災害防止計画のポイント」、「後悔しない現場安全管理」等のテーマについて、多くの項目にわたる研修を実施しました。この成果を現場の管理に活かし、さらに安全指導者パトロールで確認しながら分会全体のレベルアップが進むことを期待します。



研修会場の模様

STOP! 熱中症クールワークキャンペーンひろしま事例集を掲載しました!

「STOP! 熱中症クールワークキャンペーンひろしま」は、昨年2人の死亡災害が発生したことを重く受け止め、今年こそ、死亡重傷災害が発生しないよう、建設業の店社現場の管理担当者から第一線作業員に至るまで、一人一人が熱中症防止に取り組めるよう、全員参加型のキャンペーンを通じ、熱中症被害を防ぐことを目的に開始しました。キャンペーンでは、「熱中症」に特化された標語、スローガン、「体験談」等の募集をし、事例の提供をお願いしました。

短期間の案内にも拘わらず、熱中症防止措置に48事例、横断幕などの掲示に13事例、標語、スローガンに11事例、体験談に2事例の提供がありました。

熱中症の防止措置事例として、空調服を現場の作業員に配付した事例、安全帽内送風機を使用させているもの、熱中症防止の紙芝居、敷鉄板にスプリンクラーを設置、屋外にテントを張り、ベンチ、スノコ、氷屋の幕を垂らすなどの休憩所の工夫等様々な多くの事例の提供がありました。掲示・表示の事例では、トイレに尿の色で脱水症状の度合いを確認させる掲示、WBGT値に応じて作業、休憩のサイクルを設定して掲示した事例、外国人作業員に給水器、製氷器の位置がわかるよう外国語併記をした事例等の提供がありました。

標語・スローガンでは、「まだ大丈夫 もうちょっとでは 熱中症」、「熱中症 まじめな人ほど 注意しよう」、「無理をすれば 命落とす 熱中症」、「まだやれる その思い込み 命取り」、「ヘルメットよし! 安全帯よし! 足元よし! 水分よし! 塩分よし!」のスローガンなど、提供いただいた事例は、様々な創意工夫と現場の見える化が図られ「熱中症は必ず防ぐ」という皆さまの意気込みを感じるものが多数ありました。

事例を少しご照会します。是非当支部ホームページをご覧ください。

1 空調服の全員職員配付



2 電気職にヘルメット内送風機



3 紙芝居による熱中症教育



4 外国語の表示をした給水場



5 現場仮設トイレに尿の色掲示



6 モルタル吹付時の送風機



7 標語の例

- ・こまめに補給 気づけば時間は経っている
- ・熱中症 真面目な人ほど 注意しよう
- ・まだ大丈夫 もうちょっとでは 熱中症
- ・舐舐めて ドリンク飲んで作業場へ

8 標語・スローガンの工夫事例

標語 「まだやれる」その思い込み 命取り

スローガン ヘルメットよし! 顎ひもよし! 安全帯よし! 足元よし! 水分よし! 塩分よし!

平成29年・30年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成30年9月末)

事故の型別	墜落転落	転倒	激突	飛来落下	崩壊	突され	はまれ・巻き込まれ	切れこすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成29年	(1) 78	27	7	18	7	9	14	20	0	0	(2) 6	0	1	(2) 7	14	2	(5) 210
平成30年	(3) 88	31	12	21	(1) 3	(1) 17	36	15	2	(1) 1	2	1	0	7	13	2	(6) 251

()内は、死亡の内数

平成29年・30年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成30年9月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業								
	平成29年			平成30年			増減数	平成29年			平成30年			対前年増減数	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計			
広島中央	3	612	615	6	596	602	-13	1	60	61	2	58	60	-1	-1.6	10.0
呉	2	177	179	0	198	198	19	0	17	17	0	17	17	0	0	8.6
福山	6	408	414	3	476	479	65	2	41	43	0	62	62	19	44.2	12.9
三原	4	125	129	4	126	130	1	1	25	26	1	17	18	-8	-30.8	13.8
尾道	2	142	144	1	129	130	-14	0	11	11	0	17	17	6	54.5	13.1
三次	1	119	120	2	112	114	-6	1	14	15	2	17	19	4	26.7	16.7
広島北	2	196	198	1	212	213	15	0	29	29	1	31	32	3	10.3	15.0
廿日市	1	159	160	0	175	175	15	0	8	8	0	26	26	18	225.0	14.9
合計	21	1,938	1,959	17	2,024	2,041	82	5	205	210	6	245	251	41	19.5	12.3

建設業における平成30年度 (4月~9月) 司法事件一覧

広島労働局監督課

番号	業 種	送致時期	被疑法令	条 項	あ ら す じ
1	土木工事業	平成30年4月	労働基準法違反	労働基準法第24条	労働者1名に対する平成28年1月から平成29年7月までの8か月分の賃金約235万円を所定支払日に支払わなかったとして、土木工事業を営む会社と同社の代表取締役が送検されたもの。

人 事 異 動 の お 知 ら せ

建災防本部 (平成30年10月1日付)

新 任	氏 名	退 任	氏 名
広島県支部駐在 安全管理士	門 川 真 彦	広島県支部駐在 安全管理士	落 合 正 典

広島県支部 (平成30年9月1日付)

新 任	氏 名	前 職	氏 名
広島分会 事務局長	信 濃 愛 子	広島分会 事務局長代理	信 濃 愛 子

建設業労働災害防止協会広島県支部

平成30年度講習計画

(平成30年11月～平成31年1月末までの計画)

建設工事に従事する労働者の
ための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

作業主任者技能講習日程

足場の組立て等	実施場所	受付分会	型枠支保工の組立て等	実施場所	受付分会	コンクリート造の工作物の解体等	実施場所	受付分会
12月5～6日	広島市	支部	11月21～22日	呉市	呉	11月28～29日	広島市	支部
			1月16～17日	広島市	支部			
						木造建築物の組立て等	実施場所	受付分会
						1月28～29日	福山市	福山

特別教育日程

足場の組立て等	実施場所	受付分会	フルハーネス型安全帯 使用作業	実施場所	受付分会	巻上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会
12月14日	広島市	支部	11月20日	福山市	福山	11月21日	福山市	福山
1月18日	福山市	福山	26日	広島市	支部			
			29日	呉市	呉			
ロープ高所作業(学科のみ)	実施場所	受付分会	12月7日	広島市	支部			
12月19日	広島市	支部	11日	呉市	呉			
			18日	福山市	福山			
低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会	21日	広島市	支部			
12月12日	広島市	広島	1月11日	広島市	支部			
1月24日	呉市	呉	18日	広島市	支部			
			23日	福山市	福山			

統括・職長等各種教育日程

斜面点検者教育	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育 能力向上教育	実施場所	受付分会
1月15日	広島市	支部	11月15～16日	広島市	広島	12月13日	広島市	支部
			12月4～5日	福山市	福山			
現場管理者総括管理	実施場所	受付分会	1月23～24日	広島市	広島			
1月22日	福山市	福山						

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。

なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部(082)228-8250

広島県支部各分会

広島分会(082)228-8252
呉分会(0823)22-6886
福山分会(084)924-4320

三原分会(0848)63-9920
尾道分会(0848)22-8918

三次分会(0824)62-4391
廿日市分会(0829)31-0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部
建災防広島県支部広島分会
建災防広島県支部福山分会
建災防広島県支部三次分会

<http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
<http://www.jcosha-hiroshima.jp/hirosimabunkai/>
<http://fukubun.sakura.ne.jp/>
<http://ww7.enjoy.ne.jp/~kxm62/>